

大村益次郎 精進 秋藩士、兵學者。文政七年二月十日周防國生れ、  
 明治二年十一月五日歿（二二四一完）。舊姓村田、諱永敏、幼名惣（京）  
 太郎。通稱村田殿ハ、亮庵（安）、良庵（安）。緒方洪庵の道塾ハ洋學を  
 學び塾頭となる。のち宇和島藩ハ蘭學、兵學教授、蕃書調所教授、講  
 武所教授方等々經く、萬延元年秋藩雇士。軍制改革の長となり、戊辰  
 役ハ全作戦を指揮。維新後兵部大輔として兵制改革を企圖し、反對  
 派暴徒の襲撃に遭ひ死去。

文獻、谷口流鸞著『大村益次郎』（明治二十八年十一月求光閣『日本  
 百傑美談』）、田中惣五郎著『近代軍制の始者大村益次郎』（昭和十二年  
 五月十二日千倉書房）、小野南橋著『大村益次郎』（昭和十五年十一  
 月二十日二教書院『偉人叢書』）、高梨光司著『兵部大村益次郎先  
 生』（昭和十六年二月十日大阪・大村卿遺徳顕彰會）、井上清介著

『大村益次郎先生小傳』（改訂増補版・昭和十六年二月二十日兵庫・  
 風流社）、水谷孝之助 著『大村益次郎』（昭和十六年八月二十日金の星社）、高梨光司編『大村卿遺徳顕彰會記念誌』  
大澤 雄三 著『我等の偉人』第一卷『大村益次郎』（昭和十六年八月二十日金の星社）、大村益次郎卿記念講演集

（昭和十七年二月十日大阪・大村卿遺徳顕彰會）、野村政夫著『大村  
 兵談』（昭和十七年六月十日天佑書房）、河内仙介著『大村益次郎の  
 話』（昭和十九年五月五日泰光堂）、絲屋善雄著『大村益次郎』幕末  
 維新の兵制改革』（昭和四十二年七月二十五日中央公論社『中公新  
 書』）等。

